

豊潤の森・麗し三嶺

奥物部にひろがる広大な山岳地帯。そびえ立つ西熊山と数々の谷が織り交る西熊渓谷。山頂から麓まで豊かな天然林が広がり、多彩な光と豊富な水を湛え、多くの森の命を育む豊潤の森だ。

そして西熊山の主峰三嶺。ササ原とコメツツジのおおわれたゆるやかな曲線で描かれた麗しい稜線には、この山に触れた誰もが恋心に似た憧れを、心に抱くことだろう。

一人もいけど、ほっとひと息。山仲間との語り。地名由来の参考文献「高知の森林」

細附森



天空山歩。まるで天空を歩いている気分!! 絶景が続く!!

ササ原とコメツツジの群落が広がる気持ちのいい稜線。

鎖場。急傾斜。慎重。

巨岩。三嶺の巨人

日の強い日はダケノバの根が月に舞う。

この森の中心に向かえば心が静かに落ちつくような長持ちになるから不思議だ。

倒木を乗り越えるとき樹木の命の輪廻を想ひ。森の輪廻をつかさどるのは目には見えない菌類やバクテリアだ。

シカは、おまえに根みは無い。ただ、我がその顔で山を荒らし、木の皮まで食い、散らす横暴なふるまいは目にあまる。三嶺は、おまえだけのものではない。山を住みかとし、生きとし生けるものすべての三嶺。神の領域ぞ!!

ほとんどの山が途中まで車でアツクできることに、三嶺は麓から自分の足で歩いて登る山だ。内なる自分と向かい合い、森の息吹や谷のせせらぎ、風のそよぎを感じながら一歩一歩をのびのびながら、味わいながら登っていく山だ。

モミの巨木のうめき声が麓に響く。

展望良好

1770m 白髪山

西熊山道 登山口

西熊山 1816m

三嶺 1893m

白髪分岐 1737m

剣山 125km

別府→立石山

祖谷の集落と展望

お亀岩 お亀岩避難小屋 1994年改築

その昔、葦生に買い出しに来た祖谷の女が産気づき岩陰で子どもを産んだが、母も子どもも命を失ったという哀れな女の人名を「お亀」とした。

北アルプスの山もとも天に近い山。巨人伝説が残る。

カンガケ谷 急勾配のため鎖をかけてよじ登る意味。道に迷わないように目をかけていたといういわれがある。

ヌズビト岩谷 御留山の盗賊が、ねづらしていた岩がある。

スゲノ谷

味のある古い鉄製の標識を、見つけられるかな?

三つの谷が出会う ミツモマイ

蓮華野展覧所 三嶺の山容が見える

フスバヨリ谷 明治初期に炭焼がさかんに行なわれた谷。炭窯からのぼる煙が寄り集まる谷(約103)

スギ植林

ハチヒツテ

瀬音とどろく フスバヨリ谷

細附分岐

堂床谷

堂床

清らかな水が流れる

長せ谷

ヒカリ石 登山口

ラス巻保護

標識

20

20

20

20

20